



令和2年11月30日

PTAだより NO.3 (369号)

西初石小学校PTA
会長 宮本 修

バザーアンケートへのご協力ありがとうございました。下記の通り実施結果をご報告いたします。ぜひご覧ください。

●概要● 令和2年10月に実施。バザーに関する会員全体の意識調査、及びPTAで重視して欲しい活動の意見収集。**回答率45%**(595世帯中268世帯、教職員除く)。

●結果● ※意見については記入式のため複数回答あり。

▶従来通りのバザー継続希望は35%

理由については「子どもの楽しみ」とする意見が47件と最多。未記入26件が続く。

▶バザーに替わる企画を望む声は25%

代案28件。理由については「負担が大きい」という意見17件。未記入14件が続く。

▶バザーと代替案含め中止を望む声は40%

理由未記入が最多で47件。「負担が大きい」32件。「感染拡大の心配」14件が続く。

▶今後PTAが重視すべき活動

「登下校の安全確保」60件、「学校行事への協力」41件、「学校の衛生面強化支援」36件、「PTA活動・組織の見直し関連」18件、「オンライン授業支援」16件、「子どもたちが楽しく過ごせるような活動の実施」13件、「子どもの精神面のケア体制」9件、「親子向け教育講座」7件、など

●西初小 PTA 本部としてのまとめ●

今回のアンケート結果を経て、バザーについては社会や時代にそぐわない部分が表面化していると考えています。今後はバザー中止も視野に、企画を大きく改める必要があることを認識しました。特に「負担が大きい」という多くの声があることを受け止めなければなりません。

他方で、バザーに期待される「子どもたちの楽しみ」、芸術鑑賞会などの「財源」、保護者同士の「つながり」、などへの影響を懸念する声も寄せられております。会員の皆様から寄せられた声を参考にさせて頂きながら、対応を検討していく必要があると捉えております。

最後になりますが、今後重視すべき活動について、たくさんのご意見をいただき、とても心強く感じています。PTAとは何か、子どもたちの環境を良くするには今何が必要か、ということに対する答えがそこにあると考えています。

今、これから求められることを想像しながら、有意義なPTA活動に取り組んで参りたいと思います。引き続き、皆様の参画をよろしくお願いいたします。

※アンケート集計結果の詳細は別紙資料をご参照下さい